

財 政 報 告 書



平成26年6月1日

秋 田 県 横 手 市

1 収入及び支出の概況

平成25年度予算の執行状況（普通会計・3月31日現在）

予算額 556億2,136万円

歳入

	収 入 済 額	収 入 率
合計	462億3,756万円	83.1%
市税	81億6,317万円	98.6%
地方消費税交付金	9億3,250万円	100.0%
地方交付税	224億7,485万円	100.0%
分担金・負担金	4億255万円	82.6%
使用料・手数料	6億2,251万円	103.4%
国庫支出金	54億6,058万円	85.4%
県支出金	25億9,604万円	59.1%
諸収入	20億5,116万円	88.0%
財産収入	1億5,757万円	112.1%
繰越金	20億2,353万円	103.6%
市債	5億2,090万円	7.7%
その他	8億3,220万円	93.0%

その他…交付金など

歳出

	支 出 済 額	執 行 率
合計	453億6,913万円	81.6%
総務費	46億7,518万円	84.9%
民生費	114億1,398万円	79.2%
衛生費	48億2,704万円	87.2%
労働費	3億3,781万円	63.8%
農林水産業費	28億7,986万円	82.0%
商工費	18億7,726万円	85.9%
土木費	55億3,925万円	81.9%
教育費	48億6,023万円	81.5%
公債費	65億9,032万円	99.9%
その他	23億6,820万円	51.3%

その他…議会費、消防費など

普通会計とは、個々の地方公共団体ごとに各会計の範囲が異なることから、自治体間の財政比較ができるようにするため、地方財政統計上で共通して用いられる会計区分で、横手市では一般会計・土地区画整理事業特別会計・障害者支援施設特別会計の3つの会計を合わせたものを普通会計としています。

2. 市税収入および負担状況（3月31日現在）

市税は、市民の皆さんや企業などから納めていただいた税金であり、市の事業を行ううえで欠くことのできない貴重な財源となっています。

なお、入湯税は観光施設や消防施設の整備、観光振興事業などにあてる財源となっています。

税制 \ 区別	収入済額	構成比
市民税	32億4,171万円	39.7%
固定資産税	38億6,775万円	47.3%
市たばこ税	7億1,764万円	8.8%
軽自動車税	2億4,110万円	3.0%
入湯税	7,825万円	1.0%
その他	1,672万円	0.2%
計	81億6,317万円	100.0%

市民1人あたり (3/31住基人口 96,665人)

税制 \ 区別	収入済額	構成比
市民税	33,535円	39.7%
固定資産税	40,012円	47.3%
市たばこ税	7,424円	8.8%
軽自動車税	2,494円	3.0%
入湯税	810円	1.0%
その他	173円	0.2%
計	84,448円	100.0%

その他…都市計画税(滞納分)など

3 公営事業の執行状況

企業会計とは、市などが行う公営企業会計のことで、水道、病院、ガス、電気など地方公営企業法の適用を受ける公営企業のうち、横手市では病院事業（横手病院と大森病院）、水道事業と下水道事業が対象となります。

病院事業

＜貸借対照表＞		(平成26年3月31日現在)	
資産の部		負債・資本の部	
固定資産	80億9,692万円	流動負債	3億4,244万円
流動資産	49億2,946万円	資本金	126億1,054万円
	0	剰余金	7,340万円
	0		0
合計	130億2,638万円	合計	130億2,638万円

＜損益計算書＞ (平成25年4月1日から平成26年3月31日)			
費用		収益	
医業費用	74億8,810万円	医業収益	68億4,644万円
医業外費用	1億2,507万円	医業外収益	5億7,315万円
特別損失	14万円	特別利益	23万円
		当期純損失	1億9,349万円
合計	76億1,331万円	合計	76億1,331万円

水道事業

＜貸借対照表＞		(平成26年3月31日現在)	
資産の部		負債・資本の部	
固定資産	262億9,316万円	流動負債	2億3,713万円
流動資産	24億1,660万円	資本金	193億8,438万円
		剰余金	90億8,825万円
合計	287億 976万円	合計	287億 976万円

＜損益計算書＞ (平成25年4月1日から26年3月31日)			
費用		収益	
営業費用	12億4,545万円	営業収益	16億5,585万円
営業外費用	3億3,568万円	営業外収益	6,521万円
特別損失	2億6,313万円		
		当期純損失	1億2,320万円
合計	18億4,426万円	合計	18億4,426万円

下水道事業

＜貸借対照表＞		(平成26年3月31日現在)	
資産の部		負債・資本の部	
固定資産	347億2,676万円	固定負債	39億5,406万円
流動資産	3億6,358万円	流動負債	1億2,036万円
		資本金	175億3,088万円
		剰余金	134億8,504万円
合計	350億9,034万円	合計	350億9,034万円

＜損益計算書＞ (平成25年4月1日から26年3月31日)			
費用		収益	
営業費用	12億 179万円	営業収益	6億4,490万円
営業外費用	4億 578万円	営業外収益	10億 万円
特別損失	414万円		
当期純利益	3,319万円		
合計	16億4,490万円	合計	16億4,490万円

4 公債及び一時借入金の現在高

家庭での自動車ローンや住宅ローンなどのように、市でも事業に必要な資金が不足した場合には、借入れをして不足分をまかなうことがあります。

このうち、施設や道路などの建設、災害復旧などにあてられ、年度をこえて返済するものが地方債です。

一会計年度内で、現金の不足分を補うために借り入れるお金が一時借入金です。

地方債現在高（普通会計分：平成26年3月31日現在）

市が行う大規模な建設事業などの資金として借り入れるもので、利子とともに年度をこえて返済しています。

地方債の名称	金額
総務債	45億9,817万円
民生債	17億3,272万円
衛生債	31億552万円
農林水産業債	39億3,507万円
土木債	122億5,571万円
公営住宅債	18億1,560万円
消防債	9億5,886万円
教育債	96億4,175万円
臨時財政対策債※	183億6,930万円
その他	16億77万円
合計	580億1,347万円

その他…商工債・災害復旧債など

※臨時財政対策債とは、国から地方自治体に交付する地方交付税の財源が不足した場合に、その穴埋めとして地方自治体に地方債を発行させる制度です。ただし、返済に要する費用は後年度の地方交付税で措置されます。

市民1人あたり 600,150円 (3/31住基人口 96,665人)

一時借入金現在高

年度内に不足した現金を補うための借入金です。

借入限度額	80億円
借入現在高	0円

5 特別会計の執行状況

会 計 別	予 算 額	
	収 入 済 額	収入率
	支 出 済 額	執行率
国民健康保険特別会計	124億108万円	
	110億1,545万円	88. 8%
	107億3,844万円	86. 6%
介護保険特別会計	108億1,449万円	
	90億7,107万円	83. 9%
	98億461万円	90. 7%
特別養護老人ホーム特別会計	7億6,061万円	
	4億4,443万円	58. 4%
	7億1,061万円	93. 4%
市営温泉施設特別会計	6億9,358万円	
	5億1,469万円	74. 2%
	6億940万円	87. 9%
集落排水事業特別会計	5億8,470万円	
	1億8,917万円	32. 4%
	4億5,239万円	77. 4%
浄化槽市町村整備推進事業特別会計	5,004万円	
	6,500万円	129. 9%
	2,350万円	47. 0%
介護老人保健施設特別会計	5億1,607万円	
	3億8,797万円	75. 2%
	4億8,489万円	94. 0%
介護サービス事業特別会計	2,753万円	
	4,937万円	179. 3%
	2,274万円	82. 6%
指定通所介護事業特別会計	7,908万円	
	7,357万円	93. 0%
	7,206万円	91. 1%
後期高齢者医療特別会計	9億4,548万円	
	9億3,227万円	98. 6%
	9億2,554万円	97. 9%
財産区特別会計	1,573万円	
	1,490万円	94. 8%
	944万円	60. 0%

特別会計は、特定の歳入歳出を普通会計の歳入歳出と区別して処理するための会計です。